

北の新大陸発見! あったか網走

2013年1月26日(土)~3月3日(日)



真冬の寒さで網走湖が凍結し、新しい大陸が現れるという意味で名づけられた網走の冬の体験型ロングイベント「北の新大陸発見! あったか網走」は、ワカサギ釣りでも有名な網走湖を会場として、1月26日(土)~3月3日(日)の期間、開催されます。昼間はスノーモビルや四輪バギー、バナナボートなどが楽しめ、夜は結氷した湖上がライトアップされ幻想的な雰囲気を楽しめます。今年のライトアップのテーマは「幸せのクローバー」。夜の部人気アトラクション、熱気球係留フライトから眺めるライトアップは暖かい気持ちにさせてくれます。今年は、昼の部限定で「2時間乗り放題券」(大人2,000円/子ども1,500円)を新たに設定し、好評販売中です。小さな子どもでも楽しめるのがイベントの特徴。かわいいポニーの馬そりや長さ約40mの氷のすべり台は人気のメニューです。

所在地とアクセス

網走市呼人(網走湖畔特設会場)
 女満別空港から網走方面へクルマで約20分。国道39号沿い。
 ※2月26日、27日は会場整備のため休業します。
 ※2月25日~3月3日は昼の部(スノーモビル、スノーダッキー)のみ営業
 営業時間: (昼の部) 9:00~16:30、(夜の部) 19:00~21:00

詳しくは、「北の新大陸発見! あったか網走」会場受付
 TEL.0152-48-2046まで。

網走市観光課ホームページ「旅ナビ! 網走」
<http://abashiri.jp/tabinavi/17attaka/index.html>

献血活動について



周辺企業にも協力を呼びかけ、年2回の献血活動を継続

当社は、社会奉仕活動の一環として旭川赤十字のご協力により当社敷地内にて献血活動を行っております。

現在の日本は、少子高齢化時代に突入してきており、血液不足が懸念されております。この状況において一企業として少しでも社会貢献になればとの思いで平成22年から年2回開催しており、献血活動は提供した血液によって多くの方の生命が救われることによる命の尊さを実感できる機会になっていると思います。

当日は、職員はもとより近隣の住民の方々にも呼びかけを行いながら参加をして頂いており、私達職員一同は、社会のお役に立てる喜びを感じつつ今後も献血活動を継続して取り組んで参ります。



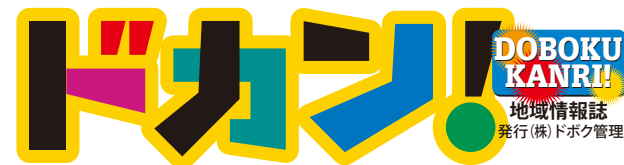
札幌支店

建設コンサルタント業・測量業・補償コンサルタント業・建築設計
 ISO 9001 : 2008認証登録



株式会社ドボク管理

本社 ●〒090-0801 北見市春光町1丁目24番地3 TEL.0157-26-3321 FAX.0157-22-7508
 札幌支店 ●〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号 TEL.011-708-0708 FAX.011-708-7700
 旭川支店 ●〒070-0831 旭川市旭町1条13丁目688番144 TEL.0166-54-7270 FAX.0166-51-1363
 網走出張所 ●〒093-0076 網走市北6条西3丁目3番地 TEL.0152-43-4150 FAX.0152-43-4160



ホームページ <http://www.dobokukanri.co.jp/>



ドライスーツ着用で流氷の上を歩く

ドボク管理ECOユニット 節電対策について

斜里町ウトロ **体験**
 流氷ウォーキング

株式会社ドボク管理

ECOユニット活動 ドボク管理の節電対策

北海道の電力事情

東日本大震災を契機に自然エネルギーや電力への関心が高まる中、昨年11月、政府より今冬の電力需給対策が発表されました。

同対策によると、北海道では、「発電設備一機に占める割合が大きいくこと」や「本州との間で電力融通を行う設備が北本連系統のみであること」、「融雪・暖房、ライフラインの凍結・積雪対策に必要なこと」といった特有のリスクにより、この冬、全国で唯一の数値目標（一昨年度比7%以上の節電）が掲げられています。

【北海道における今冬の節電期間】

朝 ↓ 夜	2012		2013		
	12/3~12/7	12/10~12/28	1/7~3/1	3/4~3/8	3/11~3/29
	8:00 ↓ 21:00	8:00 ↓ 16:00 16:00 ↓ 21:00	8:00 ↓ 21:00	8:00 ↓ 16:00 16:00 ↓ 21:00	8:00 ↓ 21:00

... 数値目標を伴わない節電 ... 一昨年度比で▲7%以上の節電

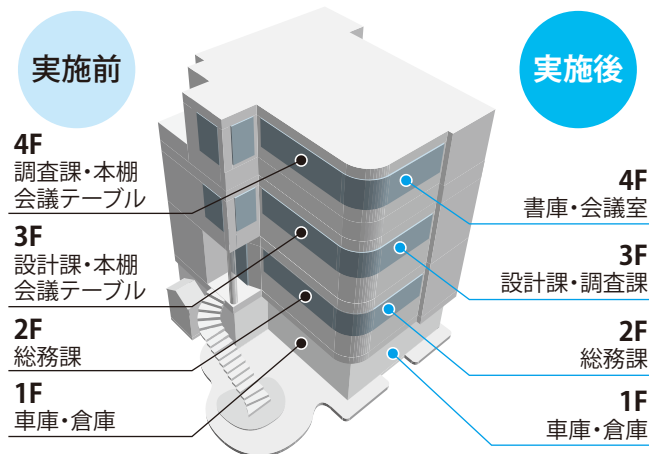
※土日・休日及び年末年始(12/31~1/4)を除く

冬季の停電によってライフラインが使えなくなる恐ろしさは、昨年、室蘭市・登別市などで発生した「記録的な暴風雪、大規模な停電」が記憶に新しいところです。積雪寒冷地である北海道の停電は、生命・身体の安全に重大な影響を及ぼしかねません。

当月(2月)は、北海道における今冬の電力需給見通しによると、供給予備力が33万kw(予備率5.8%)となっており、最も予備率が低下する月にあたります。

このような状況の中、当社としても、夏季から取り組んでいる節電対策をより一層進めていく所存です。

今回は、「節電」に着目し、当社で取り組んでいる節電対策をご紹介します。



つく~るシェア

※つく~るシェアとは、「涼しい場所をみんなでシェアするCOOL SHAREをワークスペース内で創出する」という意味の当社が名付けた造語です。冬季は、暖かい場所をシェアするWARM SHAREの効果もあります。

北海道では、夏季・冬季ともに長い時間帯に電力のピークが継続する特徴を持っています。

長時間の節電を実施するため、当社(本社)では、COOL SHAREをヒントに配置換えによる節電に取り組みました。本社の技術部門は、3F設計課、4F調査課に分かれており、それぞれに本棚や会議テーブルなどがあります。そこで、3Fフロアに設計・調査課のデスクを集約化し、4Fフロアに書庫、会議室を作ることで、ワークスペースの冷暖房共有による電力削減と平面的な照明電力の削減に取り組みました。



4Fの会議室



4Fの電力を節減

社員の手により、大規模的な引っ越しを行い、普段は、ほぼ無電力のフロア(書庫、会議室のみのフロア)を創出することができました。



3F/照明の間引き点灯

また、ワークスペースの冷・暖気がフロア全体にいきわたるよう、サーキュレーターを併用することにより、空気を循環させるとともに冷・暖気を逃がさないよう二重扉を新たに設置し、冷暖房効果を高めました。



3F/サーキュレーター



3F/二重扉

当社としては、これらのハード対策にあわせて、引き続きエコユニット活動による社員の環境意識の向上、COOL BIZや WARM BIZ、間引き点灯等のソフト対策を行うことで、節電に取り組んで参ります。

資源エネルギー庁推計によると、一般的なオフィスビルにおける用途別電力消費比率は、照明とOA機器で約71%を占めるとのデータがあります。

政府の節電ポータルサイトでは、照明やOA機器の節電メニューが記載されています。是非この機会に無理なく実施できるものから、「節電」に挑戦してみても、いかがでしょうか。

政府の節電ポータルサイト
<http://setsuden.go.jp/>



今年も奴らがやってくる。北の方からやってくる。アムール川からやって来る。そう、オホーツク海の冬の風物詩、「流氷」のシーズンが訪れます。

そんな流氷と触れ合えるレジャーがあるという。それは・・・「流氷ウォーキング」。冬の知床半島には流氷が押し寄せ、海を覆い尽くし、白い大地がお目見えする。その上を歩いて楽しむといった冬限定、知床限定のプレミアムなレジャーである。流氷と直に触れ合えるダイナミズムがたまらない。そんな流氷ウォーキングを体験したので、ご紹介したいと思います。



我ら体験隊!

どんな格好?

まず誰もが気になるのは、真冬の海を歩いて相当寒いのではないか?? どんな格好で行けば良いのか?? という事ではないでしょうか。

流氷ウォーキングを体験させてもらえるところのほとんどは、ドライスーツの貸し出しを行っており、これを着用します。ドライスーツは足先のブーツから首もとまで一体となっていて、完全防水&保温性が高いため意外と寒くはないのですよ。動きやすい格好をしてあげればオッケーです。



流氷を体感する

流氷に実際触ったりする事が出来ますので、流氷の硬さや感触などを体感できます。氷が厚い場所と薄い場所では歩く感触が違ったりと、いろいろ感じる事ができるでしょう。

また、体感した日は天気が良く、太陽が顔を覗かせていました。太陽の光を浴びた流氷はとてもきれいなブルー、まさしくオホーツクブルーでなんととも幻想的でした。そんな流氷の美しさにとりしちゃうかも。

海の上だからその景色を堪能

流氷期の知床は大海原一面が流氷で覆い尽くされている。見渡す限りの白い大地である。安定して流氷の上を歩いていると、時折海の上だという事を忘れそうになるが、たまに見える海面が海を歩いている事を実感させてくれる。ふと周りを見渡せば、普段陸上から見えるものとは少し違った景色が広がっている。海から見る知床連山や知床半島の様子などなかなかお目にかかれないシチュエーションがここにはあります。



オジロワシなどの野生動物にも出会えるかもしれません。これも流氷ウォーキングの魅力の一つでしょう。



また、海を覗くとあまりにも水の透明度が高いため、きっと感動すると思いますよ。タイミングが良ければ、人気のクリオネを間近で見ることが出来るそうなので、探してみたいかがでしょうか。

こういった海に浮かぶ事ができるのも、流氷ウォーキングの醍醐味で訪れる方に好評のようです。是非とも今年は流氷と触れ合おう!!



今回、流氷ウォーキング体験でお世話になったのは、「いるかホテル」さん。ウトロの入り口にあり、いるかのイラストがある建物が目印。オーナー山本氏はまさに知床の海を知り尽くしたお方。そんな知識豊富な山本氏にガイドもしていただきました。

いるかホテル

電話：0152-24-2888
斜里郡斜里町ウトロ西5番地
URL：http://iruka-hotel.com



知床には他にも流氷ウォーキング体験を行っているところがあるのでご紹介。

NPO法人 知床ナチュラリスト協会「SHINRA」

電話：0152-22-5522 URL：http://www.shinra.or.jp



四季を通じて知床自然についてガイドされているそうです。料金等は各自お問い合わせ願います。

